顯 B 行

ナ

n

事

實

≥⁄

テ

~ =

是等 現

草花

其 能

風

土

/岩罅

n 7 我

ガ 處 國

其

ralist in Western China

中

= ヌ

レ

タ ,

N

記

事 ガ

ク其狀

ラ彷

彿

セ

シ

現

時

我國

栽

ゥ

N

ŀ

コ

П

種

類

歐

輓近

室

ノ

ダ 瀉 瀉 力 ŀ **≥**⁄ ラ ヌ 叶 言 ナ 瀉 ŀ V 言 ナ 書 1 ィ 單 ~\P テ 别 = ア = 叶 n 下 ŋ 叶 痢 時 滇 ŀ 吅 字 叶 元 ハ デ 來 入 ァ 叶 ラ # w 叉 ヌ 下 吐 譯 3/ 瀉 グ 何 コ 時 痢 ŀ デ ダ **≥**⁄ 屯 タ 力 此 ナ ラ ١, 誤 吅 叶 ŋ ヲ 往 ŀ 新 H 書 聞 痢 紙 ィ ŀ ガ 記 ア 兩 事 n ッ デ ガ ナ 見 前 ガ ラ カ 述 ヶ 行 通 ij 瀉 w 時 ハ デ 牛蒡 痢 ナ イ コ ŀ 吐 ŀ

無學 ŀ 云 4 蒡 1 牛 ゥ 午 ŀ 書 " , ヲ ⋾ 7 見受 ケ ~ ス ガ コ ン ナ 人 ハ 吳 音 モ 漢 音 モ r ッ ダ モ ノ ヂ ٠ 7 ij ~ セ

>

ッ

ŀ

ŀ

氣除 丰 ŋ ッ テ **≥**⁄ 見 テ タ タ ケ 力 家 な タ , **≥**⁄ Ź 5 薬 デ デ = ノ とぎ (以前) 复 草 ŀ ス ŀ 思 ガ ノ名 類 ハ **≥**⁄ とマ 先 必 テ 德 頃 ズ之ヲオ茶ノ 間 ・サワイダ草 一時肺病ニ効果ソ ノ 現品 ス Ш 違 伊勢(私 ハ 一代將軍 近 來 効 夥 ヲ 以 代 デ = **≥**⁄ 鄉里 獻上 前 ッニ ク シ タ フ ナ 出 n **≥**⁄ 津 ١, サ タ 7 タ 力 ゥ Ŀ = 1 v ラ三代草 斯ウ云フ言 デ 力 = Þ 記 斯 ナ 方漢 ゥ 憶 ッ 云 Þ ガ 家 フ 7 ŀ 璺 風 y 云 1 力 Ŀ ラ 俥 俗 フ オ ~ , 1 送 ス Z* 7 ソ ッ u ア テ v ŀ n 貰 所 ヲ 云 N 私 草 ヺ フ 共 " 草 全 テ ガ = ハ げ ァ 私 國 Ħ 'n 事 " y ハ 0 慨 Ħ. 3 デ 7 ス ス 嘆 ŋ N j 讀 見 Ė ガ ソ 私 5 至 者 N v ح ŀ ۱ر y 昔藩 げ デ 小 子 = 堪 h ア 车 = ッ 侯 向 0 時 代 ナ タ テ £ ŀ 3 1 堂公) 問 5 信 ŋ 所 遊 ح Ł ジ デ デ 切 ピ ダ ガ ス A. 2 = 22

那 ŀ B 本 ŀ 觀 賞 櫻 堂

窓下 原 舶 產 來 地 斯 セ ハ 花 n 實 櫻 ヲ 見 草 西 ザ 南 種 N 部 ナ 硩 キ 支 ハ 那 = 漸 = 至 ク シ 册 V テ IJ 間 旣 = 行 西 ハ 曆 V 涿 千 然 **≥** テ 都 世 人 主 入 1 ハ 往 嗜 好 K 是 = 等ノ櫻草 ス N ヲ = 以 至 テ IJ 洋 ヌ N 種 爲 ノ 如 メ 歟 7 思 臻 料 n 處 ス 文獻 N ッ = 溫

横濱植物會々員

仲軒

主

久

內

淸

老

繇於百 年 代 n 歐 光 洲 景 合致 花 ERNEST 圃 移 Н サ v W_{ILSON} タ N Æ 氏 1 ナ N コ ŀ Natu-

那 ト日本トノ觀賞櫻古

ヲ除キ

テハ支那原産ノモ

ノ多ク其基本的

種類

次ノ四種ニ過ギ

ザルベ

シ即

FPrimulasinensis, SABINE

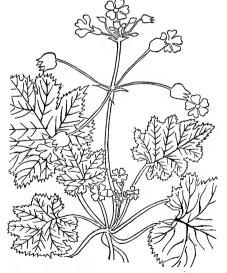
リ歐洲ニ送致セラレタルモノナルコト前述ノ如ク



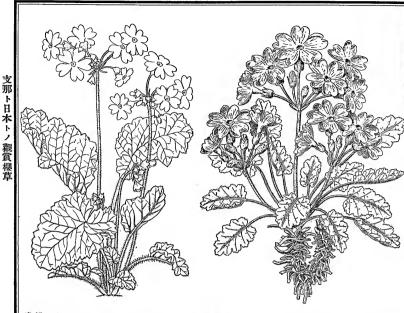
寒ざくら (Primula sinensis Sabine.) 培養品 W. B. Hemsley 氏著書ニ據ル

當ヲŖト思フ ●是等ハ何レモ千八百年代ニ於ヲ支那ヨ花トスレドモ ●是等ハ何レモ千八百年代ニ於ヲ支那ヨ花トスレドモ (乙女ざくら郷、報春花名)是レナリニざくらヲ報告 (かんざくら、巖報春漢)P. obconica, Hance.(とさはざくんかんざくら、巖報春漢)P. obconica, Hance.(とさはざくんかんざくら、巖報春漢)P. obconica, Hance.(とさはざく

ナイダー氏ノ支那植物發見史二散見ス



藏報春 (植物名實圖考、卷二十九) 培養品 (Primula sinensis Sabine.)



 $\mathbf{V}\mathbf{A}\mathbf{Y}$

ガ雲南

テ發見

Þ

3

IJ

=

現

同

大

理

於 N

發見 世

リ後世

植物學者フラ

ン

Ŧ.

3

リ其出發ニ

先

ダ **≥**⁄

チ支那産植 テ當代佛國

物

候佛國宣

教師

採集ヲ委囑

セ

ラ

居

≷ Pere Jean Marie Dela-

常磐ざくら(Primula obconica Hance.) 寒さくら(Primula sinensis Sabine.) 野生品 Curtis's Bot. Mag. tab. 6582.

Gard. Chron. n. 800, fig. 84. (1902).

發見シテ英國ニ

送レ

ニ始マル、

HENRY FLETCHER HANCE先ヅ之ヲ

宜昌

メ

Þ

二起

ル、P. obconica ハ同年

春頭、

時ノ支那

THOMAS WATTERS

ガ

八百七十九年之ヲ

疑

地

ナ

即

後英國Kewノ植物園ニ於テ種子

3 リ發生

頭 Æ 底 往 時 此 7 ラ

ズ

野 生 ス w Æ 即 3 y

至 y IJ ァ シ /明白 = 古來特 ŀ ナ 草 y テ 同 東洋 有 ŀ 氏 テ知 支那 ラ 歸 ヲ = 產 セ 起 Æ 武州 現 IJ 時 ス

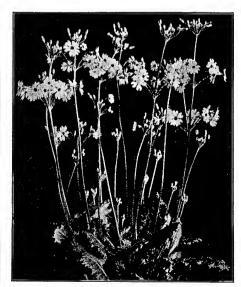
更

テ其栽培今尚 年 田



報春花(植物名實圖考、卷二十九) Primula malacoides Franch.

春小ざくら (Primula Forbesii Franch.) Curtis's Bot. Mag. tab. 7246.



乙女ざくら (Primula malacoides Franch.)

草形のめづらしきがはやり Æ 視 ヲ 抄 N 錄 者ヲ ス ガ 支那 間 江 產品 ヲ ヲ 士 愛 間 氼 斯

黑く 草といふ』ノ 札あり其を見物に行ものもありつてをもとめて其箱をかりて見るものありしがさまで行はれずこは享和 y never forget the morning on which a basketful of this charming plant was first brought to my door. Its flowers, なり云々』是ナリ、 く植作れり其花を入れたるものをみしに小介を集め入る箱のやうにこまかにしきりたる箱を多く重て内外とも henceforth take its place as the "Queen of the Primroses." beyond all question remarkable above all others which were met with at this time, for its great beauty, was a new primrose. 地 シ シ a rich magenta colour, were arranged in tiers, one above anothor, on a spike nearly two feet in height. It was シ光景ナリ、由是觀之我國さくらさうノーナルくりんさうハ當時英國ニ於 ラ 「櫻草ノ女王」ニ擬セラレ其名聲 テ如斯 漆をぬ = 圖ヲ我家ニ テ其栽培不振ナリト 關シ面白キコトアリ即チ支那ヨリ櫻草類ノ歐洲ニ入ラザル數年前即チ干八百六十三年英京倫敦ニ於テ版 人ナ 生ジ且ツ人家ニ培ハル、地錦抄ニハ『白〇紫咲分源氏いろ丿 に及 り其 百花 ルコ ト尙吾人 記事アリ依テ考フルニ此草モ亦當時多様ノ園鑿種ヲ認メラレ居タルモノナ FORTUNE ノ著 ノモ 遺シテ長逝セラレ 、内にかんてんをときて流し入たる格子の間ごとに櫻草の花 下谷和 ノ今尙野外ニ見ルコ マタ地錦 the most beautiful species of the genus to which it belongs, and will, I doubt not, ノ記憶ニ 雖モ最近物故セラレタル東京麻布ノ本山佗吉氏ノ如キハ 泉橋通りに谷 抄 Yedo and Peking ノ第一八五 ノ如キハ『色むらささと雪白の二種有』ト記シテ其白花品ノ存在ヲ指摘シ居 A 新タナル所ナリ同氏ハ在世中畫工ヲシァ其眞形ヲ描 ij ト稀ニアリ 七左衞門といふ大番與 さくらさう一似テー ●本邦特有ノさくらさらハ今日支那産ノ 一六頁ニ次ノ記事アルコト是ナリ、 フォーチューンノ此記事ハ武州神奈川附近ニ起 力あり其 種くりん草ト稱 有日光と云は 0 ーッゝかんてんにさし各名を書たる 老 母 現代ニ於テ此方面ニ努力 花 くれないなり。 を植 セラルト カシメシ三百品許ノ ルベシ、 作 る事を好み櫻草 Æ り○保童花○七重モノアリ山野水濕 But the plant 此處ニくりん Æ = のころ 花 乜 厭 を ラ セ ŋ

支那ト日本トノ觀賞櫻草

着シ

テ

居ル此種冠

二次蒴

ノ開

裂っ

字

半バヲ超エ白質膨軟

デ態

ト種子ニ取附ケタカノャウデ如何

n

= モ意味

アリ氣

ご見

工

ρ

予

テ

此

泰 ^ 変戰國ノ一草花ガ其敵國ノ首都ニ於ラ其屬ノ「女王」ニ擬セラレ居タル 西二 テ文外三年ニ當 喧 シ 力 IJ シ Æ , N 即チ ナ n タ知 七隻ノ英艦ト島津久光トガ鹿兒島灣頭ニ w 二足 ラン敷、 因 = 此 書 出 版 セ ラ 砲火ヲ交へ Z シ コ ト 紀 元千 7 ダ 百六十三 n , 時 ナリ 车 艻 將 チ 軍家茂 知 此時 治

世

)興味ヲソヽル蟻ノ種子運搬

すみれ(が科)つるにちにちくわ(がが科)弁ニたかとうだい(だが科)ナドノ諸属植物ノ種冠(Caruncle)アル種子ガ かんあふひ(ずくさ科)ぶたのまんちら(さう科)ゆきのはな(ひが人)おほやまふすま(これし)血根草(科し)くさのわら ノきけまん(Corydalis platycarpaMaxino.)トくさのわう(Chelidonium majusLinn.)トノ種子ニ就 トヲ左ニ記シテ見ョウト思フ此兩植物ノ種子ニハ次ノ圖ニアル様ニ其臍部ニ誠ニ不似合ニ 『メニ運バレテ其種冠ガ彼等ノ食物ニナルコトハ疾クニ西洋ノ植物書ニモ見エ ョリ地上ニ散落セル許リノ新鮮ナ 帝國駒場農園主 モノニ就 テ觀 テ居ル所デアルガ予ハけし n 田 ト特ニ 中 顯著デアッテ其大 貢 大キナ種 テ親 **≥** ク實驗シ 冠 ガ 上同 附 サ

色ヲ帶ベル炭黑色デ全形圓味ガヽリシとびいろけあり(Formicina nigra L.)ト長サ一分未滿漆黑色長形短肢 ノくろくまあり(Formica fusca japonica Morscn.)、くさのわらノ方ハ之ョリ更ニ小サキ種類デ長サー分餘、 テテ いろしはあり(Tetramorium caespitum L.)トガ主トシテ運搬シ 植 物 、方ニ搬 ッテ見 種子ヲ採收セ F, jν 行キ ト無數ノ蟻ガ諸方カラ蝟集シ來リ紙面 ッ ンガ爲メニ ァ ルヲ目 撃シタ、 蒴ノマ、多數採リ來リ庭前 シテさけまんノ方ハ庭園圃場等ニ最モ普通 ニ 飛散セ のノ日向 ル種子ノ種冠ノ部ヲ啣へ(日向ニ新聞紙ヲ敷キ其上ニ ツヽアッタ爾來 此現象二與味 長サ二分內外 (各自必ズ一個 乾カシテ置 ラ威 ・時々注 1 デ炭黑色 ヅ タ 暫 意 戸